



児童発達支援 わおんだより

《表現あそび》 2月号



1月は自分の作品をみんなの前で発表しました。みんなの前で話しをすることが恥ずかしくて上手く話せない友達もいましたが、職員の助けをかりて自分の思いを伝えました。

1月の活動の様子



①福笑い・磁石パズル(手指操作)

・福笑いは、顔の中に目や鼻を置いて、できた表情を「見て」と笑いながらみんなに伝えて楽しみました。余った目のパーツの形から連想して眉毛や耳に見立てて遊び、配置が決まると糊で貼り付けて完成しました。糊を指先に適量が取れるかも確認しました。

・磁石パズルは、大きささまざまな○△□の4色の磁石シートと食べ物磁石を使い、自分でイメージしてホワイトボードに絵を作りました。1回「5枚」ずつ選び、イメージした好きな遊びの中で「5」の数唱を楽しく学び、数の意識もできていました。

②箱押し・雑巾がけ(体全体を使った課題)

高這い姿勢で前進するのは、体全体のバランスが取れることでできます。足は前に出せても背筋や腰の踏ん張りができないと、崩れてしまい転倒します。床にジュータンを敷いたので、摩擦で負荷がかかり箱を押すのが難しくなりました。上手な友だちは足の指も使って押すことができていました。

2月の活動

※各曜日共通の活動です

①手指操作(制作)・・・ポンポンカーリング

手先や腕の力をコントロールしながら袋の中に空気を入れて、カーリングを楽しみます。

②全身運動・・・押してみよう！引いてみよう！いろいろな動きをやってみよう！

押したり、引いたり得意かな？ 苦手かな？ 今まで経験していなかった動きに挑戦します。

※ 水筒と汗拭きタオルの用意をお願いします。



職員 退職のお知らせ

このたび、家庭の事情で急遽退職し家庭に入ることになりました。皆さまには大変お世話になりました。ありがとうございます。

柿澤ふさ江

わおん開所時より、笑顔で子どもたちと過ごしてくれた柿澤先生。

ありがとうございました。

